

STEP UP ISHIKI

～高みを目指せ 次のステージへ～



志 寛 錬

第1号
2022.12.23
第77代
伊敷中生徒会



新生徒会始動



第七十七代生徒会スローガンは、『STEP UP ISHIKI』高みを目指せ 次のステージへ』となりました。

皆さん、第七十七代生徒会もどうぞよろしくお願います。
(酒匂 縁)

このスローガンには先輩方が築き上げてきた伊敷中をさらに良くし、そして、STEP UPできる学校にしていきたいという思いが込められています。サブタイトルには、伊敷中学生が自分たちの学校の最高を求め続け、新しいステージに行けるように、という思いが込められています。伊敷中学校の生徒会活動を盛り上げていくには生徒会役員だけでなく、生徒全員の協力が必要となります。皆さんも伊敷中をさらに盛り上げていくために積極的に活動に参加していただけるとうれしいです。

ソシオドラマ

十一月二十九日の全校朝会で、二年生の代議員十二名がソシオドラマを披露しました。周りの人に対する思いやりをテーマにしたソシオドラマでした。「言葉には霊力が宿っていて発した言葉の内容を実現させる力がある」という劇中の台詞が大変印象に残っていました。そして、「自分のためにも、いい人間関係や雰囲気をつくるためにも人を傷つけるネガティブな言葉ではなく、『ありがとう』や『頑張ろう』など前向きな言葉を発していきたいですね」という言葉でソシオドラマは締めくくられました。「言葉」について、皆さんはどのくらい信じていますか。「ウザイ」「キモイ」など人が傷つく言葉を他人に向けて発してしまったりすることがある人もいます。自分ではないでしようか。自分がされて嫌なことを他人にしてはいけません。自分が言われて嫌なことを周りに発してはいけません。「ありがとう」「頑張ろう」「応援しよう」などといった相手の心を温める優しい言葉を掛け合える学校にしていきたいものです。皆さんの思いやりのある行動や言葉でこの伊敷中学校は「行きたい」「来ると楽しい」と感じる人が多い素敵な学校になっていくはずですよ。今回のソシオドラマをきっかけに、自分の言動を見つめ直した人も多かったでしょう。誰かだけ、ではなく、全員で温かい学校を創っていききたいですね。
(上園 航平)



サンクスサンフラワー

十一月二十一日から十二月十一日は校内人権週間でした。今年も人権週間の取り組みの一つとしてサンクスサンフラワーを各学年で作りました。ハートの中に感謝の気持ちを記し、それを花として咲かすサンクスサンフラワー。「いつも

生徒会の窓

世界中で盛り上がりを見せたサッカーワールドカップ二〇二二。夜遅くまで観戦した人も多いのではないのでしょうか。私は、今回のサッカーワールドカップから学んだことが沢山ありましたが、その中でも堂安選手から学んだ「ビッグマウス」について紹介したいと思います。皆



話してくれてありがとう。」「分からない問題を教えてくれてありがとう。」など、これまで自分が誰とどのようにつながってきたかを振り返りながら「ありがとう」の気持ちを表現しました。みなさんが書いた「ありがとう」のメッセージを読むと心が温まります。人にもしてもらった「ありがとう」を、今度は自分が他の人に返していく。そういう「ありがとう」の連鎖が生まれていくことで、他人を思いやる雰囲気づくりにつながります。今年も各学年で素敵な花が咲きました。互いを思いやる心、行動について、これからも考えていきましょう。
(川路 翔也)

さんは「ビッグマウス」と聞くとどんなイメージをもつでしょうか。中には良い印象でなく、悪口と感じている人もいるかもしれません。堂安選手は、以前から「目指すはワールドカップ優勝」などの発言で注目を浴びていました。自分の夢を堂々と人前で言うことを、笑われるのが怖くて言えないという人もいます。しかし、堂安選手は「人前で高い目標を発言することによって、自分を追い込み、他人に期待をもたせ、その期待に応えるために必死に努力する」と言っていました。実はこれを心理学用語では『ピグマリオン効果』と言うそうです。ピグマリオン効果とは、他者から期待されると成績が向上する現象のことを指します。私はそれを知って自分自身の成長のために、目標を人前で発言するようになっていきたいと考えるようになりました。皆さんも何か成し遂げたい目標があるときは、恥ずかしがらずに誰かに伝えたり、言葉にしたりすることから始めてみてはいかがでしょうか。新しい景色を見ることができると、今より更にSTEP UPした自分と出会うことができるのではないのでしょうか。
(酒匂 縁)

【第七十七代生徒会】

- 酒匂縁・谷口蓮
- 上玉利歌音・大迫涼
- 上園航平・山口依芭
- 下入佐椿華
- 川路翔也・川野よう子
- 中村璃海・宮里勇輝
- 河村花菜・藤崎陽
- 宮久保華子・武田雅弘
- 西村小春・半口松玲玖
- 益満大和・上入佐福咲
- 江平蓮・比良莉愛
- 樋口聡馬・池水晴香

我ら、第七十七代生徒会！

生活部



細かいところまで気配りができるよう、生徒会活動に丁寧に取り組んでいきたいと思ひます。違反者ゼロを目指し、頑張っていけます。

美化部



美化部では朝作業の活性化、昼作業の充実を目標にし、伊敷中をもっときれいにしたいと考えています。きれいな環境を維持するためには、一人一鉢や朝作業に参加するなど大切で、協力をお願いします。

体育部



体育部です。一年間よろしくお願ひします。ボール管理や迅速更衣を徹底して行い、クラスマッチや体育大会など、皆で全力で楽しみましょう！

広報部



広報部では、学年放送時の立腰の姿勢の徹底や、授業前後のあいさつの改善などを目標に頑張っています。初めてでわからないこともありますが、精一杯頑張っていけます。

本部



生徒会本部は、会長酒匂縁をはじめとする七人で構成されており、スローガンにもあるようみんながSTEP UPできることを目標に活動しています。八つの専門班と支え合い、頑張っていますのでよろしくお願ひします。

庶務部



庶務部ではカバン棚点検やベルマーク集計、学年合唱の充実に入れていきたいです。特にベルマークなどのボランティア活動には、生徒一人一人の力が必要ですのでご協力よろしくお願ひします。

図書部



図書部では、朝読書、朝自習をもっと充実させたいと考えています。そのためには一人一人の意識が大切で、また全クラスが千冊を達成できるように、本をたくさん読みましよう。ご協力よろしくお願ひします。

保健部



保健部では、四時間目終了後八分以内着席の徹底を目標にしています。伊敷中をコロナ対策ばっちり、残食ゼロの学校にしたいと考えています。

学習部



私たち学習部は、全員が二着一黙を当たり前にできるような取り組みをしています。精一杯頑張りますので、ご協力よろしくお願ひします。

新聞作成者の言葉

二〇二二年も残すところ一週間となりました。皆さんは年末年始をどのように過ごす予定でしょうか。第七十七代の翌檜新聞を本日ようやく発行することができました。今年度、製作を中心となっていて行います、広報部部長の江平蓮と副部長の比良莉愛です。作成の仕方や新聞の構図など、まだまだ未熟なところもありますが、皆さんに楽しんで読んでいただくことができるよう頑張っていますのでどうぞよろしくお願ひします。今後の翌檜新聞にも、どうぞ期待ください。それでは皆さん、良いお年をお迎えください。

(江平 蓮)
(比良 莉愛)